

市政トピックス

新本庁舎建設 ニュースNo.13

4階の鉄骨部分の組み立てが 始まりました

4月末までに3階の柱、梁の組み立てが終わり、5月末から4階の鉄骨の組み立てが始まります。4階部分は広い大会議室（410平方メートル）や電気室、書庫などがあり、荷重や柱と柱の間隔などを考慮して、建設費用がより安価な鉄骨構造を採用しています。



3階まで庁舎が組み上がった様子（上）4階眺望コーナー部分（左）

4階北西部分の眺望コーナーからは、西は室山や常念岳、有明山が、東は光城山などの山々が見渡せます。休日にも開放しますので、開庁後は、ぜひここからの眺望をお楽しみください。

エコボイド（吹き抜け）は、東西に2つあり、空調や照明負荷の軽減と火災時の排煙の役目があります。また、この空間には主に市民の皆さんが利用する階段も取り付けられます。



エコボイド（吹き抜け）部分

地下1階の駐車場では、電気・給排水の配管配線工事が始まりました。今までは骨組み工事が主でしたが、いよいよ建物内部の内装などを行う造作工事も始まります。（5月8日撮影）



地下1階駐車場の配管工事の様子

〒本庁舎内庁舎建設推進課

TEL 71・2000（代）FAX 71・5000

穂高支所整備についての市民説明会を開催

穂高支所の整備等については、これまで穂高地域審議会、支所等整備検討市民会議から提言や報告をいただき、基本計画をまとめてきました。今回、実施計画および実施設計策定にあたり、新しい支所の庁舎配置等を含め、市民の皆さんから意見等をいただく説明会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

●日時 5月31日（土）午後7時から（約1時間30分予定）※事前申し込み不要

●場所 穂高支所 大会議室（別棟2階）

〒穂高支所地域課地域担当 TEL 82・3131（代）FAX 82・6622

■桜の名所光城山 1000人SAKURAプロジェクトが始動

市民と市が協働し、光城山（豊科光・標高912メートル）の桜の保全活動などを行う「安曇野市光城山1000人SAKURAプロジェクト」の設立総会が4月28日、豊科支所で行われました。

当日は、市や光城山を管理する上川手山林財産区管理会、地元区、里山保全活動を行うNPO法人の代表者など関係者38人が出席しプロジェクトの進め方などを確認しました。

宮澤市長はあいさつで「多くの市民の皆さんが参加し、今まで以上の桜の名所にして欲しい」と期待を寄せました。また、会長に上川手山林財産区管理会会長の長崎孝雄さんが選ばれました。長崎会長は就任のあいさつで「訪れる人に喜んでもらえるような桜が育つよう頑張りたい」と話しました。

市制10周年に合わせて、サクラを植樹

このプロジェクトは、市の桜の名所のひとつになっている光城山について、登山道沿いの桜が老木となり、樹勢の衰えで花づきが良くない年もあることから、市や市民がそれぞれの役割を担いながら、桜の植樹などを



あいさつをする長崎会長

行います。本年は、6月にヤマザクラなど試験植樹を行い、樹木医など専門家と相談しながら光城山に適した桜の選定や植樹と管理の方法を研究します。研究結果を踏まえ、市制10周年となる平成27年度に市民が参加し桜の植樹を行い、数年で約1000本の桜を植樹する計画です。

市民の憩いの場に

プロジェクトでは桜の植樹と管理のほか、光城山一帯の観光振興や歴史文化の伝承、周辺の自然環境保全、登山道整備による市民の健康増進を図る活動なども行います。今後、分科会を設置し活動を進め、光城山一帯が市民をはじめ多くの人の憩いの場となるよう、長期的に取り組む予定です。



登山道沿いの桜の様子



現在の光城山の登山道